

フォード ピント

アメリカ / 1975



マーベリックがデビューした翌年の1971年モデルとして登場したホイールベース94.2インチのサブコンパクトカー。このモデルのデビューによって、マーベリックは4ドアセダンを追加し、コンパクトカー的なキャラクターへと変化することとなった。標準エンジンは98.6CI (75PS) の直列4気筒OHC。同じく4気筒の122CI (100PS) OHCをオプション設定していた。ボディバリエーションは2ドアファストバックセダンと3ドアランナバウトハッチバックセダンである。ピントは翌'72年にはワゴンをバリエーションにプラス、ローコストさが評価されてそれぞれのボディバリエーションごとに10万台以上をコンスタントに売り上げていった。特にワゴンの人気が高かったのがいかにもアメリカらしい。1974年からは標準エンジンを122CI (80PS) 、オプションを140CI (82PS) に拡大、オイルショックの中で販売台数は増加していった。1975年、標準エンジンは140CI (83PS) 、オプションエンジンは170.8CI (97PS) のV6 0HVへと拡大された。さらに1975年後半からは4気筒エンジンモデルに触媒付きを投入するなど、排気ガス規制への対応を強化していった。1979年、それまで小規模なマイナーチェンジを数回行ってきたピントは、角型ヘッドライトを採用するなどの比較的大規模なマイナーチェンジを実施する。そして翌1980年モデルを最後に消滅。最終モデルにはV6の設定はなかった。

ピント

エンジン

搭載位置	フロント縦置
種類	ガソリン 4サイクル
冷却方式	水冷
シリンダー配置	V型
気筒数	6
バルブ形式	0HV
排気量(cc)	2793
最高出力(PS/rpm)	98/4400
最大トルク(mKg/rpm)	19.1/3200
燃料容量(Ltr.)	49

駆動方式

駆動方式	FR
変速機	3速AT 4速MT

シャシー

サスペンション 前	独立 ダブルウィッシュボーン コイル
サスペンション 後	固定 半楕円リーフ

ブレーキ 前	ドラム
ブレーキ 後	ドラム
タイヤ	BR78-13

ボディー

構造	モノコック
ドア数	2
全長(mm)	4293
全幅(mm)	1763
全高(mm)	1283
車輻重量(kg)	1170
乗車定員(名)	4

性能

最高速度(km/h)	160
------------	-----